

実施教員	所 属	社会福祉子ども学科
	職・氏名	教授 朝日 雅也

テーマ	バリアフリーについて考える		
実施目標 (高校生に何を学んでもらうか等)	人と環境との間に存在するバリア(障壁)をなくすことをバリアフリーという。障害のある人や高齢者が、その人らしく暮らしていく「ノーマライゼーション」を進めていく上で、バリアフリーは重要な鍵となる。バリアフリーとは何か、その本質を探る。		
授業内容の要旨	バリアフリーというと、駅のエレベータや公共施設の車いす用トイレを思い浮かべる人が多いのではないかと。しかしながら、人と環境との間に存在するバリアは多様である。これらの物理的なバリアに加え、社会制度上のバリア、情報や文化に関するバリア、そして人々の意識のバリア。いずれも障害のある人や、高齢者のノーマライゼーションを進める上で取り除いていく必要がある。さらに初めから誰もが使いやすい製品やサービスを創造するユニバーサルデザインの考え方も重要だ。現代を生きる私たちにとって、決して特別なことではない、バリアフリーやユニバーサルデザインについてその本質を探りたい。		
授業形態	☒ 講義	実習	演習
対象人数	40 人程度		
必要機材	☒ プロジェクター	☒ スクリーン	☒ パソコン (パワーポイント)
	OHP	その他 ()	特になし
実施に当たっての その他留意事項等	パソコンとそれに接続するプロジェクターがなければ、OHPでかまわない。		